

# 令和8年度 まちの予算

## 令和8年度予算の概要をお知らせします

これまで、財政収支の改善に取り組み、着実に成果が現れていますが、令和6年度決算では一般会計の実質単年度収支が4年ぶりの赤字となりました。

新年度予算は、人口減対策や経済の活性化策を切れ目なく推進するために必要な予算を計上しています。

施策を計画的に展開し、

「子どもたちに希望ある未来」「持続的で発展する壮瞥町」を目指します。

## 各会計の予算額

会計名	令和8年度	令和7年度(当初)	比較	増減率	
一般会計	51億2,000万円	46億8,700万円	4億3,300万円	9.2%	
特別会計	8億1,450万円	8億3,560万円	△2,110万円	△2.5%	
内訳	国民健康保険	3億5,780万円	3億8,730万円	△2,950万円	△7.6%
	後期高齢者医療	7,590万円	6,060万円	1,530万円	25.2%
	介護保険	3億8,080万円	3億8,770万円	△690万円	△1.8%
公営企業会計	7億9,168万円	8億146万円	△978万円	△1.2%	
内訳	簡易水道事業	3億8,198万円	3億4,024万円	4,174万円	12.3%
	集落排水事業	4億970万円	4億6,123万円	△5,153万円	△11.2%
合計	67億2,618万円	63億2,406万円	4億212万円	6.4%	

全会計総額は**67億2,618万円**で、前年度と比べると4億212万円増加しました。主な増加要因は、一般会計における**建部改良住宅の移転整備**などです。

新年度においても、計画的に推進してきた**総合的な定住施策の継続**に加え、**産業の振興**や**子育て支援の継続**など、**まちの将来に必要な投資を積極的に進めます。**

## 一般会計歳入(図-1)

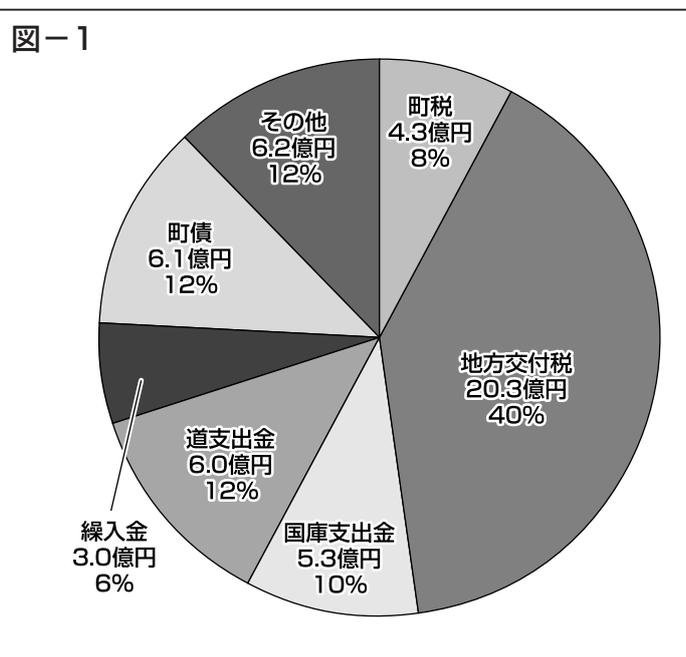
町税は、入湯税などの増収を見込み、1,308万円増の4億2,723万円を計上。

地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、1億2,000万円増の20億3,000万円としています。

国庫支出金は、道の駅拡充や公営住宅建設に係る交付金の増加などにより、8,680万円増の5億2,553万円を計上。

町の基金(貯金)からの取り崩しである繰入金は、8,692万円増の2億9,910万円で、財政調整基金の取り崩しは300万円減の1億8,300万円となりました。

町債は、公営住宅建設事業の増加などにより、7,640万円増の6億540万円の借り入れを予定しています。



## 一般会計歳出 (図一2)

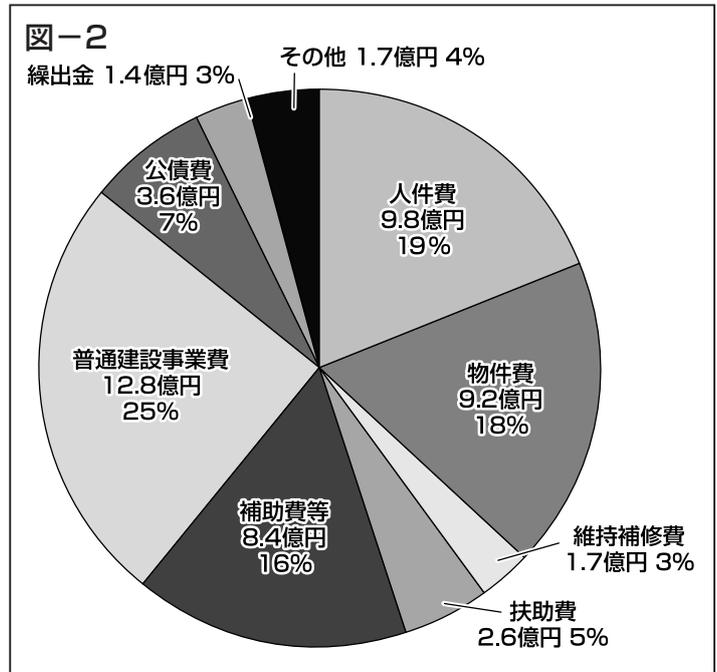
右図は、性質別に歳出を分類したものです。

人件費は、ベースアップなどにより前年度から5,395万円増の9億8,233万円としています。

普通建設事業費は、公営住宅建設事業の着工などにより、2億8,284万円増の12億8,493万円としています。

公債費は、借り入れた町債の返済で、705万円減の3億6,173万円としています。

返済額は元金の減と利子の増により、概ね横ばいとなっています。



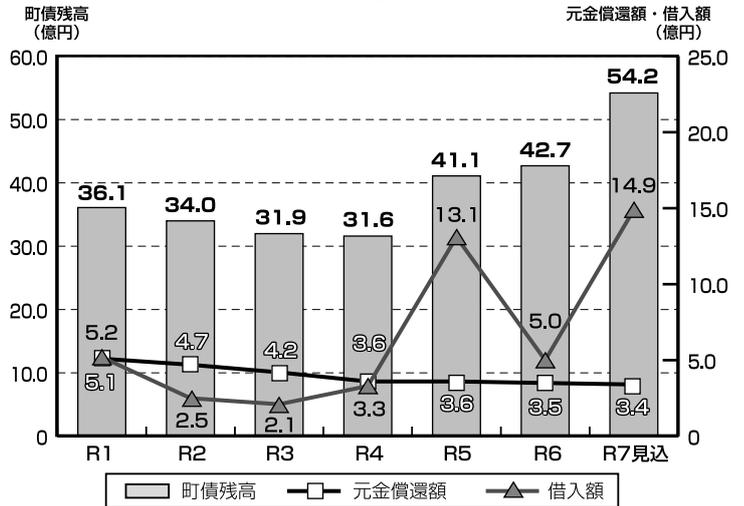
## 町債 (まちの借金) 残高の推移

町債残高は、壮瞥中学校建替事業の令和6年度からの繰越実施による借り入れなどにより、令和7年度決算では増加する見込みです。

令和8年度も建部改良住宅の移転整備による公営住宅建設事業債やそうべつ情報館機能拡充事業の継続実施による過疎対策事業債の借り入れを予定しており、町債残高が増加する見込みです。

町債の多くは、償還 (返済) 額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。

町債残高の推移 (一般会計)

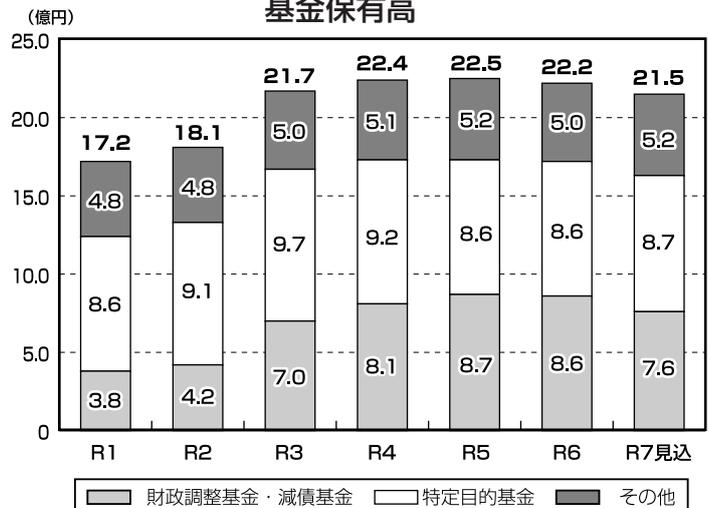


## 基金 (まちの貯金) 保有高の推移

令和元年度から、予算の精査、財源の活用など、収支不均衡の改善に取り組んだ結果、基金保有高は増加傾向にあります。令和6年度決算では過疎法に基づく課税免除などにより微減となりましたが、比較的高い水準を維持しています。

財政改善の成果を踏まえ、まちの将来に必要な投資を積極的に進めていることから令和7年度末保有高は減少する見込みとなっています。

基金保有高



**本町が持続的に発展するために必要な施策を計画的に推進できるよう、安定的な財政基盤を確立し、将来を見据えた社会資本整備を推進します。**

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係 (☎0142-66-2123)